

「点描」

社会福祉法人潤沢会理事長

高橋 典成



高齢期の課題「難聴」「食事」

高齢に伴い、難聴で悩んでいる人が増えています。言葉の聞き取りに支障が出るのは60代、70代で、徐々に進行する

ために本人が気づきにくく、日常生活で不便を感じ、補聴器が必要となります。

現在70歳以上の半数は難聴者で、全国1千万人に上ると言われています。難聴と認知症の関係については、厚生省の「新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）」で、「難聴は認知症の危険因子」と明記されています。

補聴器購入費用は高額です。物価高が生活を圧迫しています。このような中で補聴器購入の補助制度の創設を求める動きも出ています。高齢期の課題として日々の「食事」にも課題があります。「買い物に行けない」「近くに店がない」「食事づくりがおっくうだ」

ワークステーション湯田・沢内では弁当配達の仕事をしています。職員と利用者で弁当をつくり、安価で配達しています。令和4年度で延べ8200食の利用があり、町の委託事業としての「宅配弁当」と独自の「ふるさと弁当」の2本立てで実施しています。

宅配は安否確認の役割もあり、急病人の利用者を救急搬送した事例もあります。しかし、経営上の悩みは経費オーバーです。食材の物価高、輸送のガソリンの高騰です。昨年、若干の値上げ（利用者負担）をさせていただきましたが、限界になってきました。これからのいろいろ協議をしていきたいと思っています。

よい。夏にボアのスリッパを買ったとて、冬まで待たばよい。「ええ！なんでこんな買ったきたの」と笑われることも一つの物語となり、学びとなる。

とは言え、Tさんがダイソンのコードレスクリーナー買ってきたと聞いた時には、「あちゃ、また高級品を」とがっかり。後日、品を確かめに行くと、なんと「Sonic」のロゴが入った本物そっくりのおもちゃの掃除機だった（笑）。「ダイソンで35000円は破格だもんね」「孫用に譲られたらいいかしら」笑われるやら叱られるやら、これもまた一つの物語となった。

グループホーム便り

迷う楽しみ悩むも一興

交通手段の乏しい西和賀で、買い物に出かけるのは難しい。大抵は町内で済むのだが、2L以上のサイズや若い世代の好みに合うものを買おうとすると、横手辺りに出かけることになる。必要なものを間違いないか買うために、予算を決め何をかうかリストアップする。限られた時間内なるべく効率よく店内を一巡りして、mission overとなる。目当ての物は買えたのに、お互い「やれやれ」といった感じでわくわく感はない。私は先日、サンダルでも買おう

と靴屋に立ち寄った。気に入ったデザインのものを見つけたが色を決めかねていた。色違いの三足を何回も試し履きをし「ごめんささいね、迷っちゃって」と店員さんに謝った。すると、「迷ってください。お店9時までなのであと4時間は悩めますよ。（笑）」つき放すでもなく、嫌味のかけらもないさりげなさであった。「悩む」ことにマイナスのイメージしか持たない私に、「悩めますよ」の一言は妙に新鮮に響いた。

利用者の買い物に同行すると、間違いないか買物をしてもらうと、ついつい余計な口出しをしてしまう。迷う楽しみも悩む自由も私たちが横取りをしているのかもしれない。おやつを大量に買い込んだとて、それをどう上手に心を満たしながら食べるかを悩めば

今回から担当になりました。右も左もわからない初心者ですが、たくさんの方々に手伝いいただきながら頑張っています。たいと思っています。よろしくお願ひします。鈴木 晃一

編集後記

施設長 畠山 幸雄

2023.8.1

社会福祉法人 潤沢会
ワークステーション湯田・沢内

〒029-5612
岩手県和賀郡西和賀町沢内字大野13-28-4
TEL0197-85-2019 FAX0197-81-2015

編集委員会/畠山 幸雄
発行人/高橋 典成
印刷/鶴田印刷株式会社

No.80

開設20周年を迎えた今

「完全参加と平等」「ノーマライゼーション」の理念の下で、障がい者が一心に働く姿を地域の人々に見てほしいと、平成14年4月にスタートしたワークステーション湯田・沢内。たくさんの方々を支えられ、昨年度開設20周年を迎えることができました。

境も大きく変化してきました。その一つが家族（保護者）の高齢化です。

高齢化の現状

当施設の利用者の平均年齢は55歳を超えています。保護者の平均年齢は単純に20歳プラスした計算でも75歳。当然、支援力、介護力が低下する、保護者自身も疾病や障がいを抱える状況も多くなりました。また、町の人口は5,000人を切り、過疎化に歯止めがかかりません。仮に兄弟がいても、同居又は町内に暮らしている確率は低く、日々のサポートは難しい状況がほとんどです。施設開設当初から保護者の高齢化への対応が必要なのは言われてきましたが、それが現実のものとなってきています。

高齢化、重度化への対応

当法人の運営するグループホームは現在満床。3棟ある建物のうち、既存の一般建物を活用した2

人に、自然に、やさしい地域づくりを目指して

和と風と



20年の歩みを見守り続けた時計台

地域で暮らす障がい者の社会参加の場、働く場の確保から始まり、安心して生活できる暮らしの場（グループホーム等）の確保、そして生活全般をトータル的にサポートする相談支援など、町内唯一の障がい福祉サービス事業所として、多様化するニーズに応えるべく取り組みができた20年。しかし、その月日は障がい者の高齢化、重度化のみならず、その人を取り巻く環

施設長敬白

ワークステーションの隣に住む方が、7月に関東に住む娘さんのところに移れることになり、ご挨拶をいただきました。高齢であつてもお元気で、毎日のように畑で働いている姿を見ました。が、御主人を亡くされたことを契機に町を離れる決意をされたようです。間もなく隣家は空き家となります。寂しくなります。

西和賀町でも空き家問題が語られて久しくなりました。町内の空き家は120件くらいとのこと。西和賀町の住宅は、豪雪に耐えられるように頑丈に作られています。床面積の広さもまた特徴と言えるでしょう。もったいないと思います。町では空き家バンクを設置して移住を希望される方々に紹介することにも取り組んでいます。西和賀町に住む人が増え、空き家が上手に活用されたいですね。

ワークステーションでは、移住に備えて今年の野菜作りを断念されたお隣の畑をお借りし、枝豆や小豆などを栽培しています。長年耕してきた畑は上質です。収穫できたらお送りしますからね。京子さん。

棟は完全なバリアフリーではありません。また、入浴設備も一般的なものであり、介助の必要な方が入浴するのに安心できる環境、設備とは言えません。高齢化、重度化に対応した居住環境と、知識、経験、技術を持ったスタッフの育成、確保が急務となっています。

人口減少と福祉

人口の減少はサービス利用者の減であり、福祉の担い手の減でもあります。これを放置していれば、必然的にサービスの休止、廃止。更に運営費に直結するため、事業所や法人そのものの存続が難しくなるのです。

町独自の仕組みや体制を

しかし、福祉は一般的な需要と供給のバランスだけで考えられるものではなく、必要としている人がたとえ少数であっても、出来る限りサービス提供を維持していく必要があります。そしてこれが地域で安心して暮らしていける条件作りにつながるのです。

町の現状を見れば、新たな設備投資等ではなく、今ある限られた人材、地域資源をフル活用できる、制度の縦割りを超えた町独自の仕組み、体制作りが急務となります。

高橋 和也

令和5年度経営改革の年に

利用者の減少とコロナによる影響は当法人の経営を大きく苦しめています。6月に開催された評議員会でも抜本的な対策が必要というご意見をいただきました。これを受け、理事会ではプロジェクト会議を設置し、今後の法人運営改善に向け、スピード感をもって取り組むこととしました。

中長期計画の策定

令和4年度、ワークステーション湯田・沢内では、12日間の休業を余儀なくされました。施設内でのコロナ感染によるものです。利用者の高齢化・障害の重度化による退所や他施設への移行などで利用者数も減少しており、経営状況が急速に悪化しています。

6月に開催した理事会では、新たな地域福祉の創造と変革への挑戦を目指す第1次中長期計画を定めました。具体的な内容はこれから詰めていくこととなりますが、計画の具体化及び事業の見直し等は理事会プロジェクト会議が中心となり、役員が一体となって進めていく予定です。

経営基盤の改善

中長期の計画づくりとして率先して取り組まなければならないの

は、経営基盤の改善です。昨年度に20周年を迎えたワークステーションは、利用者がこの地域で安心して暮らしている環境づくりのために、本体である通所事業所を建設し、就労関係の各種事業を立ち上げ、グループホーム3カ所を整備し、それを支える職員体制を作ってきました。

しかし、利用者が減少する中、それぞれの利用者の生活環境や障がい特性などに応じた多様な対応が必要になっていきます。その中で経営基盤を改善し安定化させるためには、法人としての基本理念や事業目的を改めて確認しながら、地域のニーズや経営環境の変化に対応した体制を築いていくことが必要です。計画の初年度が重要な年になりますので、迅速かつ全力で取り組む覚悟です。

事業の見直し

ワークステーションでは、利用者の仕事づくりと工賃アップに向けて様々な事業を進めてきました。ワーク農園での農産物の生産や、生産物を利用した加工事業、高齢者等への宅配弁当、西和賀高校生への副食提供、学校給食用パンの製造、病院売店の運営などがあります。これはまた、社会福祉法人として地域に少しでも貢献したいという思いを実現するための事業展開でもありました。

しかし、物価高騰や人口減少に伴う需要変化などへの対応の遅れが収支バランスの悪化につながっており、既存事業の役割や将来性、収益性などを検証して事業構造全体を見直す必要に迫られています。これについては、利用者本位の立場で十分な協議検討をしながら、年度内に方向性を示すこととしていきます。

地域福祉の共創

西和賀町には人口に比べて多くの福祉施設があります。いずれも小規模な運営であり、労働力が不足していることなどの課題も共通しています。人口減少と高齢化が進んでいる現状にあって、これら

の課題はますます大きくなっていくものと思われれます。

共創という言葉がありますが、異なる立場や価値観を持つ人、組織などが意見を出し合い新たなサービス、価値観などを創り出すことと定義されていて今後の地域づくりや福祉を考える上で大切なことと思います。

西和賀町としての地域福祉のあり方、将来を見据えた連携や共創できる体制づくりについて、町や他法人等との協議をしていきます。

島山 幸雄



佃煮用のフキの皮むき作業

リハ(ペリ)友、八十五才はグチるのです。新茶の時期なのにコーヒー。鯉が旬なのにとんかつ。そしてコンビニ弁当。毎日がこんな厭立なの。夫と二人だけの食卓にはお魚とたっぷり野菜の手料理だったのに。三年前に夫が亡くなってからは、借りてきた猫みただった娘婿は、近頃は虎のよう。昨晚もリビングでテレビを見ていたら「義母さん、自分の部屋で見てくれよ。テレビあるんだから」とと機嫌悪そうに。私、ムカッ！そして、「ごで見たっていいじゃない。ここは私の家で私が買った大型テレビなんだから。転がり込んで来たあなた達から家賃も水光熱費ももらっていないんだし」とどんなに言いたかったか。でも口惜しいけど言えなかった。

毎週のハッピートーク No.47

娘もことある毎に、長男の所に行けば、なんて嫌味を言う。「ここは私の家、出ていくのはあなた達でしょ、子供も居ないんだし簡単でしょ、と心の中で言い返しなから、黙って自分の部屋に入る情けなさ」とリハ友。
さて、私の場合。多分連れは先に逝き、残されるのは覚悟。で「どうする(家康)潤子」。施設だって、同居だって、独居だって結構、上等。八十四年生きてきた経験と知恵と火事場のバカ力で乗り越えて自由で楽しく生き抜こうと思ってるのですが、「地震の時は、娘夫婦と同居なので安心」とつけ加えたりリハ友の一言にちよっぴり心が乱れるのです。

相談役 坂巻潤子

ヨガ教室

今年度の5月10日から毎週水曜日、元氣一番館にて始まったヨガ教室。講師の高田由佳さんを迎えて行っています。作業の息抜き、体重を減らすため、運動不足の解消など様々な理由で参加をする利用者達。「楽しい！」と頑張る人もいれば、「疲れた…」とクタクタになる人も…。

しかし、普段運動をあまりしない利用者がヨガを楽しんでやっているのを見ると、これからも元気に続けて欲しいな…と思います。

照井 遥



地域

地域活動支援センター「とんがりぼろし」今年からはメンバーが変わり、平均年齢もグッと下がった新体制での活動となっています。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大によって思うように外出が出来なかったりと活動が制限されており、利用者には心苦しい状況が続いています。

コロナも5月からインフルエンザと同様の5類へと移行しているため、この状況も少しずつ変わっていくと思われれます。今までできなかった分を取り返す勢いで、参加者が楽しめるような活動をしていきたいと思えます。

その先駆

けとして、
6月25日に
横手の浅舞
公園の「あ
やめ祭り」
へ行っつき
ました。こ
の状況を早
く吹き飛ば
せるよう若
い力でこれ
からも頑
張っていき
ます!!
高橋 黎



新任職員紹介



作業指導員 北島 正司

5月の初めからワークでお世話になっていきます大自然と土いじりが好きで、利用者の皆さんと一緒に楽しく畑仕事をやっていきたいと思っています。



作業指導員 佐々木 つゆ

5月からお世話になり2カ月になりました。何しろ高齢なもので、無謀とも思いましたが皆様から温かい声をかけて頂き楽しく働かせて頂いています。これからも宜しくお願いします。



グループホーム 支援員 高橋 恵子

6月からお世話になっていきます。今までは幼児、児童生徒、サロン活動での老人などに関り、楽しい毎日を通してきました。

今までの仕事とは内容も違いますが、働いている皆さんの頑張りが素晴らしいです。少しでも、頑張っている人たちの役に立てるように精進していきたいと思えますのでよろしくお願いたします。

続「風声」



潤沢会名誉会長
淑徳大学名誉教授
毎日新聞名誉職員
坂巻 熙

令和の米寿祝い

八十八才になりました。米寿、と言われる年齢です。両親はともに五十代で他界し、友人、知人の多くも鬼籍に入りました。思えば、ずいぶん長生きしたものです。

「おのこやも むなしかるべき 万代に 語り継ぐべき 名は立てずし」と

万葉の歌人、山上憶良の心境が身にしみますが、しよせん凡人。新聞記者、大学教師、そして社会福祉法人理事長と、まあまあ、良い人生だった、と思う昨今です。

そんな折り、息子から電話が。「オヤジの米寿記念に家族旅行をしよう。宿の手配は、こつちでやるから」

普段は余り連絡もしてこないのに、オレのトシを覚えていてくれたのか、と少々嬉しく。

当日、指定された箱根の豪華ホテルに行っただけです。

温泉に入り、食べて飲んで歌って、と、まあ、トシを忘れた楽しい一刻で、翌日、チェックアウトのフロントで、

「オヤジの祝いなだから、スポンサーはオヤジでしょ」

ナヌツ。米寿の祝いは、子どもたちが親の長寿を祝うのではないのか。ゴタゴタするのも面倒なので、結構、安くない宿泊料金は、私めのカードから。

長生きして良かったのはオヤジ。だから、スポンサーになるのも当然、と言われれば、それもありがた、と。トシをとって少々弱気に。

人生五十年の昭和の時代なら、米寿は珍しかったから、子どもたちが祝った。だが、人生百年、令和の時代は米寿など当たり前。

まして、寝たきり、認知症の八十八才など祝う気にもなれませんと。言われれば、それもそうだな、と納得です。

子供や孫、世の中から「大事にされたい」などと甘ったれた「トシヨレ」になつてはならないのです。(満員電車で席を譲られると正直嬉しいと思うのは、やっぱりトシヨレなのではないか)

今は、元気で八十八才になった「自分を誉めてあげたい」と自分から祝うのが、令和の「米寿祝い」なのですね。

でも久しぶりの家族旅行。楽しい旅でした。

県障がい者スポーツ大会



6月3日(土曜日)盛岡にて障がい者スポーツ大会がありました。今年は一ワークステーションから11名の選手が参加しており、前日から楽しみと緊張が混ざりそわそわして帰宅した利用者。当日の朝、みんな「おはようございます！」と元気な挨拶。そして、車に乗り込みいざ会場へ。会場につきテントを立てた直後に強い雨が降りみんな不安そうな顔。そのあと、すぐに晴れていい天気になりみんなほっとした様子。

出番になると「行ってきます！」

「頑張る！」など気合十分。諦めず最後まで走りぬいた人。メダルを取り喜ぶ人。2位で悔しい！来年は1位をとるとさらに気合を入れる人。各々が自分の出せる全力を出し一生懸命にがんばったスポーツ大会。帰りの車の中では疲れて寝ている利用者もいました。未だにコロナの影響で行事などが中止、延期になることがあるけど、コロナに負けず元気に来年も参加できるように1日1日を大切に！

鈴木 晃一



競技を終えて満足そうな表情



メダルを首にポーズを決めました

令和4年度 財務報告書

法人単位資金収支決算書

(自)令和4年4月1日現在 (至)令和5年3月31日現在

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
収入				
職労支援事業収入	29,830,000	29,251,828	578,172	
障害福祉サービス等事業収入	159,065,000	129,202,076	29,772,924	
経常経費寄附金収入	3,020,000	784,500	2,235,500	
受取利息配当金収入	10,000	429	9,571	
その他の収入	2,550,000	2,183,609	386,391	
非課税活動収入計(1)	195,475,000	161,492,442	34,192,558	
支出				
人件費支出	117,635,000	111,793,533	5,841,467	
事業費支出	31,692,000	24,998,190	6,693,810	
事務費支出	17,593,000	16,627,502	965,498	
職労支援事業支出	29,830,000	29,490,981	339,019	
支払利息支出	1,800,000	1,272,360	527,640	
その他の支出	1,800,000	1,272,360	527,640	
事業活動支出計(2)	198,750,000	184,521,940	14,228,060	
事務活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△3,100,000	△23,029,498	19,929,498	
収入				
施設整備等収入(4)	2,050,000	2,026,800	23,200	
設備資金借入金元金償還支出	1,350,000	1,320,000	30,000	
ファイナンス・リース債務の返済支出	3,400,000	3,346,800	53,200	
施設整備等支出(5)	△3,400,000	△3,346,800	△53,200	
債権回収等収入(6)	6,500,000	7,661,768	△1,161,768	
その他の活動収入計(7)	6,500,000	7,661,768	△1,161,768	
支出				
長期運営資金借入金元金償還支出	1,116,000	1,116,000	0	
積立資産支出	757,000	640,284	116,716	
その他の活動支出(8)	1,873,000	1,756,284	116,716	
その他の活動支出計(9)	4,627,000	3,909,484	△1,278,484	
当期資金収支差額(10)=(7)-(9)	△1,877,000	△20,470,814	18,593,814	
前期未支払資金残高(12)	2,027,000	40,536,306	△38,609,306	
当期未支払資金残高(11)=(10)+(12)	150,000	20,165,492	△20,015,492	

法人単位事業活動計算書

(自)令和4年4月1日現在 (至)令和5年3月31日現在

勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
収入			
職労支援事業収入	29,831,828	26,875,212	2,956,616
障害福祉サービス等事業収入	129,202,076	145,872,664	△16,670,588
経常経費寄附金収入	784,500	832,000	△47,500
サービス活動収入計(1)	159,828,404	173,579,876	△13,751,472
費用			
人件費	111,245,049	110,623,797	621,252
事業費	24,993,190	26,604,672	△1,611,482
事務費	16,627,502	17,736,369	△1,108,867
職労支援事業費用	29,722,840	26,958,231	2,764,609
施設整備費	12,878,092	13,565,074	△686,982
国庫補助金等特別積立金取崩額	△6,261,652	△6,702,824	651,172
サービス活動費用計(2)	189,412,821	188,725,319	687,502
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△30,084,417	△15,145,443	△14,638,974
収入			
受取利息配当金収入	429	541	△112
その他のサービス活動外収益	2,163,609	2,648,066	△484,457
サービス活動外収益計(4)	2,164,038	2,648,607	△484,569
支払利息	354,374	235,491	118,883
その他のサービス活動外費用	1,272,360	1,465,530	△193,170
サービス活動外費用計(5)	1,626,734	1,701,021	△74,287
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	537,304	947,586	△410,282
経常増減差額(7)=(3)+(6)	△29,547,113	△14,497,857	△15,049,256
収入			
施設整備等補助金収入	913,000	913,000	0
固定資産売却益	250,000	0	△250,000
特別収益計(8)	0	1,163,000	△1,163,000
費用			
特別費用計(9)	0	0	0
特別増減差額(10)=(8)-(9)	0	1,163,000	△1,163,000
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	△29,547,113	△13,334,857	△16,212,256
前期繰越活動増減差額(12)	82,153,945	94,591,800	△12,437,857
当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	52,606,832	81,256,945	△28,650,113
収入			
基本金取崩額(14)	0	0	0
その他の積立金取崩額(15)	6,500,000	1,000,000	5,500,000
その他の積立金増立額(16)	27,000	103,000	△76,000
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)+(16)	59,079,832	82,153,945	△23,074,113

法人単位貸借対照表

令和5年3月31日現在

	資産の部			負債の部			
	当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減	
流動資産	27,186,497	48,347,956	△21,161,459	流動負債	9,587,132	11,217,663	△1,630,531
現金預金	5,522,665	24,002,713	△18,480,048	事業未払金	3,472,176	3,893,099	△420,923
事業未収金	20,645,159	23,388,456	△2,743,297	1年以内返済予定設備資金借入金	2,026,800	2,026,800	0
商品・製品	370,071	376,536	△6,465	1年以内返済予定長期運営資金借入金	1,116,000	1,116,000	0
原材料	648,602	580,251	68,351	1年以内返済予定リース債務	442,000	1,320,000	△878,000
				預り金	12,610	200	12,410
固定資産	233,857,096	254,464,541	△20,607,445	職員預り金	2,517,546	1,696,564	820,982
基本財産	211,260,331	220,539,241	△9,278,910	前受収益	1,165,000	0	△1,165,000
土地	16,800,054	16,800,054	0	固定負債	24,682,203	29,221,811	△4,539,608
建物	193,460,277	202,739,187	△9,278,910	設備資金借入金	13,356,500	15,383,300	△2,026,800
定期預金	1,000,000	1,000,000	0	長期運営資金借入金	7,489,000	8,605,000	△1,116,000
その他の固定資産	22,596,765	33,925,300	△11,328,535	リース債務	442,000	442,000	0
土地	5,982,562	5,982,562	0	退職給付引当金	3,836,703	4,791,511	△954,808
建物	1	656,266	△656,265	負債の部合計	34,269,335	40,439,474	△6,170,139
構築物	1	1	0	純資産の部			
機械及び装置	4,314,948	4,998,264	△683,316	基本金	20,000,000	20,000,000	0
車両運搬具	483,268	936,543	△453,275	第1号基本金	7,240,000	7,240,000	0
器具及び備品	1,654,862	2,442,733	△787,871	第3号基本金	12,760,000	12,760,000	0
有形リース資産	442,000	1,762,000	△1,320,000	国庫補助金等特別積立金	141,853,806	147,905,458	△6,051,652
退職給付引当資産	3,836,703	4,791,511	△954,808	その他の積立金	5,840,620	12,313,620	△6,473,000
人件費積立資産	1,120,000	7,620,000	△6,500,000	工賃変動積立金	499,323	499,323	0
施設整備等積立資産	2,099,000	2,099,000	0	設備等整備積立金	2,122,297	2,096,297	27,000
工賃変動積立資産	499,323	499,323	0	人件費積立金	1,120,000	7,620,000	△6,500,000
設備等整備積立資産	2,122,297	2,095,297	27,000	施設整備積立金	2,099,000	2,099,000	0
その他の固定資産	41,800	41,800	0	次期繰越活動増減差額	59,079,832	82,153,945	△23,074,113
資産の部合計	261,043,593	302,812,497	△41,768,904	(うち)当期活動増減差額	△29,547,113	△13,334,857	△16,212,256
				純資産の部合計	226,774,258	262,373,023	△35,598,765
				負債及び純資産の部合計	261,043,593	302,812,497	△41,768,904